

## 第 32 回 国立研究開発法人防災科学技術研究所契約監視委員会議事概要

I 日時 令和 6 年 6 月 11 日（火）14：00～16：00

II 場所 防災科学技術研究所 東京会議室  
（東京都港区西新橋 2 丁目 3 番 1 号 マークライト虎ノ門 6 階 602 室）

### III 出席者

委 員 長 田中 徳夫（岩田合同法律事務所 弁護士）  
委 員 品田 和之（品田公認会計士事務所 公認会計士）  
委 員 藤田 高弘（国立研究開発法人物質・材料研究機構 前監事）  
委 員 小杉 健二（国立研究開発法人防災科学技術研究所 監事）  
委 員 神野 紀恵（国立研究開発法人防災科学技術研究所 監事）

### IV 議題

- (1) 第 31 回契約監視委員会議事概要（案）について
- (2) 令和 5 年度調達等合理化計画の自己評価に対する点検について
- (3) 令和 6 年度調達等合理化計画の事前の点検について
- (4) 令和 5 年度締結契約における理事長が定める基準による事後点検について
- (5) 令和 5 年度下期に締結した新規契約の点検について
- (6) その他

### V 議事概要

- (1) 契約監視委員会委員に就任された藤田委員より着任の挨拶があった。
- (2) 前回開催した委員会の議事概要について、確認がなされた。
- (3) 令和 5 年度調達等合理化計画の自己評価に対する点検について

契約課より、令和 5 年度の取組状況、自己評価について説明があった。

令和 6 年 1 月 1 日に発生した「令和 6 年能登半島地震」への対応のため、防災科学技術研究所会計規程第 29 条第 2 項第 2 号による緊急を要する場合として随意契約を行ったが、迅速な会議開催を経ることができたため、事後点検となる案件は発生しなかったこと、前回の委員会で委員より要請のあった「随意契約検証チームにおいて随意契約が適さなくなった案件」についても説明があった。

委員より、評価基準等について確認があり、契約課から調達の基準として有効に機能し、研究所の効率化目標達成の一翼を担っているなどの補足があった。点検の結果、了承された。

- (4) 令和 6 年度調達等合理化計画の事前の点検について

契約課より、令和 6 年度調達等合理化計画案について説明があった。

委員より、新規採用職員等への不祥事事案等を含めた研修の実施状況について質問があり、契約課から文部科学省等からの情報等を基に研修を実施しているなどの説明があった。点検の結果、了承された。

- (5) 令和 5 年度締結契約における理事長が定める基準による事後点検について  
契約課より、「競争性のない随意契約」「一者応札・応募案件」等についての令和 5 年度 of 取組状況及び、今後の取組案について説明があった。  
また、前回の委員会で委員より要請のあった辞退者全員へのアンケートに関する 1 年分の回答状況に関して、契約課から説明があった。  
委員より、随契確認公募に関する質問があり、契約課から説明があった。  
点検の結果、了承された。
- (6) 令和 5 年度下期に締結した新規契約の点検について  
契約課より、令和 5 年度下期に新規に締結した契約のうち、契約案件金額上位 3 件の契約案件(随意契約 2 件、一般競争入札 1 件)に関する詳細説明があった。点検の結果、了承された。
- (7) その他  
契約課より、令和 5 年度に交付決定、令和 6 年度に繰越しの上で同年度内に執行を必要とする補正予算及び令和 6 年度に予算措置された予備費の説明があった。  
また、一者応札と随意契約への割合に基づき、随意契約の基準の見直し等について、他機関の情報を参考にしながら整理して、次回委員会で意見交換させていただきたい旨の説明があった。
- (8) 事務局より、次回の開催を令和 6 年 11 月頃に行いたいと提案し、了承された。